

## 〈事務局報告〉

## 1. 平成 23 年度 前期理事会および All About Swine 編集委員会

平成 23 年 6 月 28 日（火）午前 学士会館 306 号室にて理事会を開催した。

出席者（順不同、敬称略）；井上忠恕、波岡茂郎、赤池洋二、名越仁宣、小林秀樹、清水実嗣、山本孝史、岩村祥吉、三宅真佐男、櫻井 忠、中根 崇、齊藤政宏、浅井鉄夫、吉田修作、鈴木悟郎、須永静二、松下幸広、中島宗雄、小林一彦（事務局）

審議事項 ①平成 22 年度事業ならびに決算報告、②平成 23 年度事業計画ならびに予算案、③講演者の旅費に関する内規の変更、④理事変更について討議されそれぞれ理事会で承認した。審議事項①、②、④は当日午後の総会に諮ることとした。

第 22 回研究会講演内容についても検討され、後期理事会でさらに内容を詰めることとした。

編集委員会では、All About Swine の 39 号の内容を協議し、第 21 回講演内容のほかにいくつかの原稿を用意することとした。

## 2. 平成 23 年度 定期総会

平成 23 年 6 月 28 日（火）午後 学士会館 202 号室にて定期総会を開催した。

井上会長挨拶の後、総会議事に移った。

小林副会長を議長に選出し、平成 22 年度事業報告、同決算報告、平成 23 年度事業計画・予算案、理事変更について事務局の説明に基づき審議され、いずれも理事会の原案通り承認された。また、名誉会長を新たに設ける案が提出され、それ

に伴い会則を一部変更することが承認された。

## 1) 平成 22 年度事業報告

宮崎での口蹄疫発生とその対応を考慮し、理事会（稟議）で 6 月開催を 11 月に延期した。

11 月 2 日 KKR ホテル東京で午前理事会開催、同日午後 定期総会、研究会を同場所にて開催した。研究会は、日本 SPF 豚協会と合同セミナーとして開催し以下 4 題の講演と日本 SPF 豚協会の生産成績優秀 CM 農場表彰式（生産成績優秀 CM 農場表彰式、総合生産成績最優秀農場および商品化頭数最優秀農場表彰）を行った。①「日本における SPF 豚生産システムと SPF 豚農場認定制度」（柏崎 守氏 SPF 豚農場認定委員会）、②平成 21 年度認定農場の生産成績年次報告（藤田世秀氏 日本 SPF 豚協会）、③「北海道の SPF・CM 農場とともに歩んだ 20 年—ホクレン SPF 豚ピラミッド」（岩瀬俊雄氏 ホクレン農業協同組合生産振興部）、④「豚サーコウイルス 2 型関連疾患とワクチンおよび農場バイオセキュリティによる農場内コントロール」（出口栄三郎氏 鹿児島大学）。

平成 23 年 2 月に All About Swine 37・38 号合併号を刊行した。

## 2) 平成 22 年度決算報告（別表参照）

## 3) 平成 23 年度事業計画

6 月 28 日午前 理事会、同日午後 第 21 回日本 SPF 豚研究会 総会 講演会。

9 月に All About Swine 39 号（研究会講演内容主体）発刊予定。11 月に後期理事会。2 月に All About Swine 40 号発刊予定。

## 4) 平成 23 年度予算（別表参照）

## 5) 理事退任および交代

退任理事 波岡茂郎氏  
退任理事 山岸和重氏  
新任理事 中島宗雄氏  
(富山県農林水産総合技術センター)  
退任理事 鈴木隆春氏  
新任理事 松下幸広氏  
(静岡県畜産技術研究所)  
退任理事 真原隆治氏  
新任理事 須永静二氏  
(茨城県畜産センター)  
退任理事 家入誠二氏  
新任理事 大村 誠氏  
(熊本県農業研究センター畜産研究所)

6) 会則の一部改正 44～45 ページ参照

### 3. 第21回日本SPF豚研究会

以下4題の講演を行った。

- ①「地域社会の歴史と文化を育むブタ飼養：中国福建省とイベリア半島を中心に」(国立民族博物館 野林厚志氏)
- ②「認定農場の生産成績年次報告 平成22年度(2010)」(日本SPF豚協会 藤田世秀氏)
- ③「養豚環境における病原微生物の挙動とその制御について」(元麻布大学 森田重光氏)
- ④「口蹄疫の疫学」(動物衛生研究所 筒井俊之氏)

講演の内容はAll About Swine 39号に掲載予定。

／以上

## 平成 22 年度決算報告書

日本 S P F 豚研究会

平成 23 年 6 月 28 日

	22 年度予算額 (円)	22 年度決算額 (円)	備 考
(収入の部)			
前 年 度 繰 越 分	1,578,503	1,578,503	
会 費 正 会 員	440,000	366,000	
会 員 賛 助 会 員	220,000	220,000	
広 告 料	421,313	421,313	AAS 38 号分
預 金 利 息	5	17	
雑 収 入	10,000	0	
収入合計	2,669,821	2,585,833	
(支出の部)			
会 誌 原 稿 料	150,000	180,600	AAS 37, 38 号分
会 誌 編 集 料	60,000	60,000	同
会 誌 印 刷 代・送 料	300,000	329,540	同
講 演 会 謝 礼	160,000	91,600	2 名講演料, 旅費
研 究 会 開 催 費	350,000	358,935	第 20 回研究会, 施設使用料, お茶ほか
会 議 費	90,000	81,126	施設使用料, 弁当代など
通 信 費	35,000	37,440	
事 務 費	250,000	105,733	切手, 現金書留など
雑 費	10,000	12,768	PC, コピー代, ラベル代, 封筒
予 備 費	1,264,821	0	振込手数料, サーバー年間使用料
(支出小計)	2,669,821	1,257,742	
次年度繰越金	0	1,328,091	
支出合計	2,669,821	2,585,833	

\* 研究会開催基金として 1,500 千円を別会計とする。  
 会計監査の結果収支が適正であったことを認めます。  
 平成 23 年 6 月 7 日

監査 齊藤 政宏 

上記以外に未収金として ￥354,375 - (2 月発刊 AAS37, 38 号分広告料) があります。

## 平成 23 年度予算

日本SPF豚研究会  
平成 23 年 6 月 28 日

	23 年度予算額 (円)	備 考
(収入の部)		
前 年 度 繰 越 分	1,328,091	
会 費 正 会 員	400,000	220 名
会 員 賛 助 会 員	220,000	11 社
広 告 料	800,000	AAS No.37 & 38, 39 号分
利 息	10	
雑 収 入	10,000	当日参加費など
収入合計	2,758,101	
(支出の部)		
会 誌 原 稿 料	400,000	AAS No.39, 40 号
会 誌 編 集 料	120,000	同
会 誌 印 刷 代・送 料	600,000	同
講 演 会 謝 礼	120,000	第 21 回研究会
研 究 会 開 催 費	350,000	同上
会 議 費	100,000	
通 信 費	90,000	PC 通信費, サーバー使用料, 切手代など
事 務 費	40,000	コピー代, 封筒代など
雑 費	10,000	振込手数料など
予 備 費	928,101	
(支出小計)	2,758,101	
次年度繰越金	0	
支出合計	2,758,101	

\* 研究会開催基金として 1,500 千円を別会計とする。

\* 科目間の流用を認める。